

関西SDGsプラットフォーム

Kansaiから、かわる。

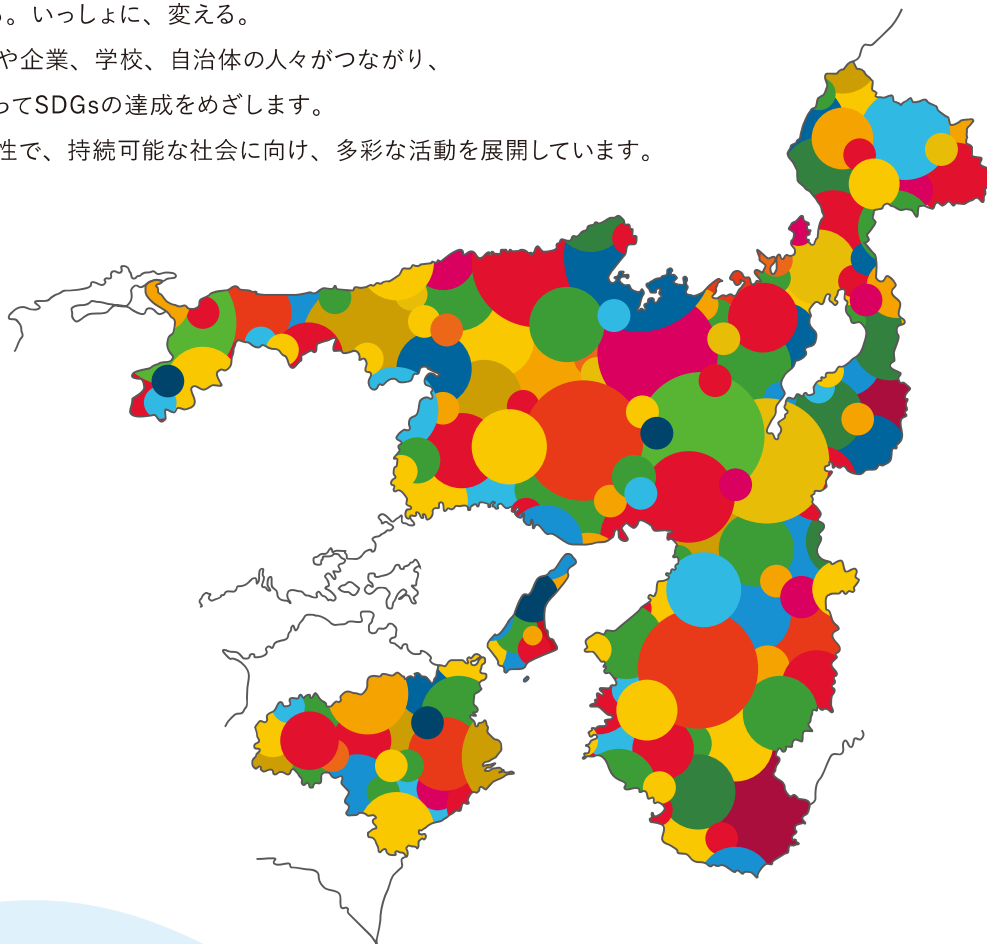
Realizing a sustainable society for Kansai, for Japan, for the world.

Kansaiから、かわる。いっしょに、変える。

そんな想いで、市民や企業、学校、自治体の人々がつながり、

お互いの力を持ちよってSDGsの達成をめざします。

関西らしい進取の気性で、持続可能な社会に向け、多彩な活動を展開しています。



私たちが暮らす現代は、気候変動、自然災害、感染症、紛争など、地球規模の課題が経済・環境および社会に重大な影響を及ぼしています。さらに、急速に進む都市化や高齢化など、新しく顕在化した課題もあります。こうした課題が山積する中、国際社会の協調した取り組みの必要性が強く認識されています。

こうした中、2015年9月に「国連持続可能な開発サミット」が開催され、成果文書として「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。

持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)はその一部であり、17のゴール(目標)と169のターゲットが掲げられています。キーワードは「誰一人取り残さない(leave no one behind)」です。

「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」(英語・日本語(外務省仮訳))

関西SDGsプラットフォームとは？

設立背景

関西 SDGs プラットフォームは、2017 年 12 月の設立から約 10 年が経過しました。この間、気候変動の深刻化や国際情勢の変動など、私たちを取り巻く社会情勢は大きく変化し、持続可能な社会に向けた課題はより一層複雑化しています。SDGs（持続可能な開発目標）の達成期限である 2030 年まで加速が必要な重要なフェーズに入った現在、本プラットフォームの役割は「理解と浸透」の段階から、多様なステークホルダーによる「具体的な社会課題解決に向けた行動と共創」を加速させる段階へと移行しています。

関西の持つポテンシャルを最大限に活かし、産官学民の強固なパートナーシップのもと、次世代に向けた持続可能な未来を関西から牽引してまいります。

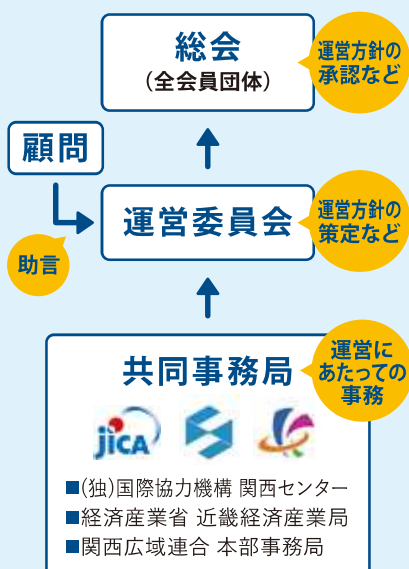
設立目的

本プラットフォームは、

- (1)SDGsへの取組みが、関西の民間企業、市民社会・NPO・NGO、大学・研究機関、自治体・政府機関、すべての人々にとって、重要であることを広くアピールするとともに、
- (2)各ステークホルダーの連携と協働により、関西において持続可能な社会の構築に向けた活動や高い社会的価値を生み出す経済活動を加速していくことを目的としています。



運営体制



運営委員会

役職	組織名	氏名
運営委員長	一般社団法人エコビジネス推進協会	専務理事 藤本 和富
運営副委員長	大阪大学社会ソリューションイニシアティブ (SSI)	教授 田和 正裕
運営委員	公益社団法人関西経済連合会	理事・国際部長 日高 明子
	特定非営利活動法人関西 NGO 協議会	理事 石崎 雄一郎
	阪急阪神ホールディングス株式会社	グループ経営企画室 サステナビリティ推進部長 相良 有希子
	滋賀県	総合企画部企画調整課 参事兼第一係長 嶋田 宏之
	独立行政法人国際協力機構関西センター	次長 今井 健

推進宣言

私たちは、2015年9月に国連で採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が、途上国と先進国を含む全世界及びここ関西にとって、重要な行動計画であることを強く認識し、経済・社会・環境を調和させ、持続可能で強靱、そして誰一人置き去りにしない、一人ひとりが能力を発揮できる社会を構築していくことを決意します。

私たちは、このアジェンダの精神に則り、人間と地球を中心に据えた原則や価値観に基づく包摂的パートナーシップを、ここ関西を中心とした市民、企業、大学、自治体など多くの関係者の協力を得て、強化することを決意します。

これら決意の下、関西のため、日本のため、そして世界のため、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた多様な活動を促す「関西SDGsプラットフォーム」を本日設立し、持続可能な社会の実現に関西より推進していくことをここに宣言します。

2017年12月16日

活動内容

知る

Webサイトやメールマガジンを通じたイベント情報やニュースの提供、イベントの独自開催、アンケート調査等を行っています。また、会員が開催するイベントへの講師紹介や後援も行っています。SDGsの重要性をアピールし、一歩踏み出す後押しをしています。

深める

分科会は、共通の問題意識を持つ会員の発意に基づいて設置され、独自に定めた目標と計画に沿って活動しています。多様な業種のアクターが交流することで議論が深まり、新たな事業やイベントが生まれています。

つながる

パートナーシップの促進を目指して、会員の交流の場を提供しています。ホームページに設けた「共創スペース」は、新たなプロジェクトや課題解決のための協力者を募る場として活用頂けます。



分科会活動

関西SDGsプラットフォームでは会員による具体的な活動を奨励しています。会員が直面している社会課題への取り組みを通じ、特定のゴールの達成に貢献すべく、様々な分科会が結成されています。

<分科会への参加方法>

関西SDGsプラットフォームホームページの「新規ご入会申請」から、まずは関西SDGsプラットフォームの会員に登録ください。

同申請フォームに「分科会入会希望」に係る項目がありますので、ご記入の上、送信してください。

ご不明点あれば、「各種お問い合わせ」からお願いします。



- 関西SDGs貢献ビジネスネットワーク
- SDGs環境ビジネス分科会
- 食品ロス削減分科会「SERO FOOD WASTE」
- 教育分科会「SDGsナレッジラボ」

- バリアフリーマップ分科会
- 兵庫部会 ひょうごSDGs Hub
- 大学分科会
- ローカルSDGs・脱炭素分科会



分科会は会員の発意で設立、運営されています。一緒に始めてみませんか？

1. 関西 SDGs 貢献ビジネスネットワーク

事務局 近畿経済産業局

設立趣旨	ビジネスの視点から SDGs 推進を目指すことを目的に近畿経済産業局が主体となり設立しました。既に途上国の社会課題の解決と経済発展に貢献している先事例のケーススタディなど、各種セミナー・ワークショップの開催や情報提供を通じ、様々な業種・業態の企業の皆様に参加いただくことで、多様な企業間連携の形成を促進します。
------	---

2. SDGs 環境ビジネス分科会

事務局 一般社団法人エコビジネス推進協会

設立趣旨	2030 年の SDGs のゴール達成に向けて、SDGs 環境ビジネスを通じて、企業支援、パートナーシップ実現に貢献してまいりました。分科会では専門部会を設け、「水・エネルギー」「プラスチック資源循環」「木材活用・森林保全」「DX/GX」と更なる活動の深化を目指しております。
------	--

3. 食品ロス削減分科会「ZERO FOOD WASTE」

事務局 特定非営利活動法人 Deep People

設立趣旨	日本の食品ロス量は、年間で 464 万トン。世界全体の食糧援助量 440 万トンに対して約 1.2 倍である。食品ロスは資源の無駄になるだけでなく、環境負荷や経済的損失にも繋がります。食品ロス削減はもちろんのこと食品廃棄物全般の削減（ZERO FOOD WASTE）に向けて、食に関わる企業や生産者、行政、教育関係者が削減方法を考え、取り組んでいく分科会です。
------	--

4. 教育分科会「SDGs ナレッジラボ」

事務局 特定非営利活動法人 Deep People

設立趣旨	SDGs を達成するための知識の得られる場・機会の創出を行う分科会を設立する。また現在 6 人に 1 人が相対的貧困状態であり、子どもの心の貧困（自己肯定感や自己効力感の低さ）も課題とされています。SDGs の「誰一人取り残さない -leave no one behind」 という理念の下、未来を担う全ての子どもたちに対して、学習支援だけでなく、社会に貢献し、SDGs 達成にも取り組み、よりよい社会を目指し、実際に行動し体験できるステージづくりや人間教育を行います。そのために子どもたちの主体的な活動を理解し、支援する体制や環境を分科会として創出していきます。
------	--

5. バリアフリーマップ分科会

事務局 一般財団法人 SDGs 普及協会

設立趣旨	駅を中心に半径 500m の範囲内でベビーカーや車椅子利用者、大きなキャリングケースを持った旅行者のためにバリアフリーな移動ルートを明確にするオリジナルマップを関西全駅に整備することを目指し活動している分科会です。将来的にはさらに利用者対象を増やして、誰もが安心して移動できる社会の実現を目指しています。
------	--

6. 兵庫部会 ひょうご SDGs Hub

事務局 兵庫県

設立趣旨	SDGs 達成に向けた取り組みは、地域創生の推進に資するものであり、将来にわたって持続可能な地域を実現するためには、兵庫が持つ多様性を活かし、あらゆる主体がパートナーシップを深めながら取り組みを進めていくことが不可欠です。本分科会では、県内各層への SDGs の浸透と行動様式の変革を図るとともに、多様な主体による連携・協働を一層促進し、SDGs の達成とともに社会的課題の解決と地域活性化の両立を図ります。
------	--

7. 大学分科会

事務局 大阪大学ソリューションイニシアティブ

設立趣旨	SDGs が目指す持続的社会的構築には、誰一人取り残さない社会を目指して、技術革新と社会的変革が不可欠であり、2030 年の世界を担う若手人材の育成が重要です。本分科会は、SDGs の課題達成に向けた諸問題の解決にむけて、高等教育及び研究を担う大学と産官学民の幅広い関係機関が「誰一人取り残さない」を理念とする SDGs に関連する諸課題についての教育・研究・社会貢献活動の推進・協働を行います。
------	--

8. ローカル SDGs・脱炭素分科会

事務局 環境省近畿地方環境事務所

設立趣旨	本分科会では、ローカル SDGs・脱炭素の実践に役立つ情報発信や事例紹介のほか、事業創出に向けた出会いの場づくり、組織の壁を越えた実践者同士のネットワーク形成、地域活性化人材育成プログラムの開発・試行などに取り組みます。それにより、ローカル SDGs を実践する人たちのエコシステム（生態系）の形成と発展の仕組み化、脱炭素の要素も加えた地域の未来像の共有、実践の促進を目指します（分科会活動として実施する各種企画についても、参加団体同士の連携・協働・共創の機会とします）。
------	--

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



関西 SDGs プラットフォーム共同事務局

独立行政法人国際協力機構関西センター (JICA 関西) 内

H.P

<https://kansai-sdgs-platform.jp>

お問い合わせは、ホームページの「各種お問い合わせ」からお願いいたします。

